



第3章

環境市民会議からの提案 ～地域でできる市民活動～

ここに掲げる「地域でできる市民活動」（以下、地域活動）は、市民が「こうなるといいな！」と考える環境をイメージして、地域の市民が中心となり、市や事業者など関係者と話し合いながら、実現に向けて取り組んでいくものと位置づけます。地域活動の内容は、環境市民会議からの提案をもとに、市民環境意識調査の結果も参考にしながら設定しました。

この地域活動の中には、市民単位で進めるものと地域単位で進めるものがあります。地域単位で進める活動については、地域ごとの特色を生かせるよう、自治会や町内会の組織を主体としたモデル事業などにより進めて行く方針です。活動の過程や成果は情報公開し、他の地域でも参考にして活動を広げていくねらいがあります。

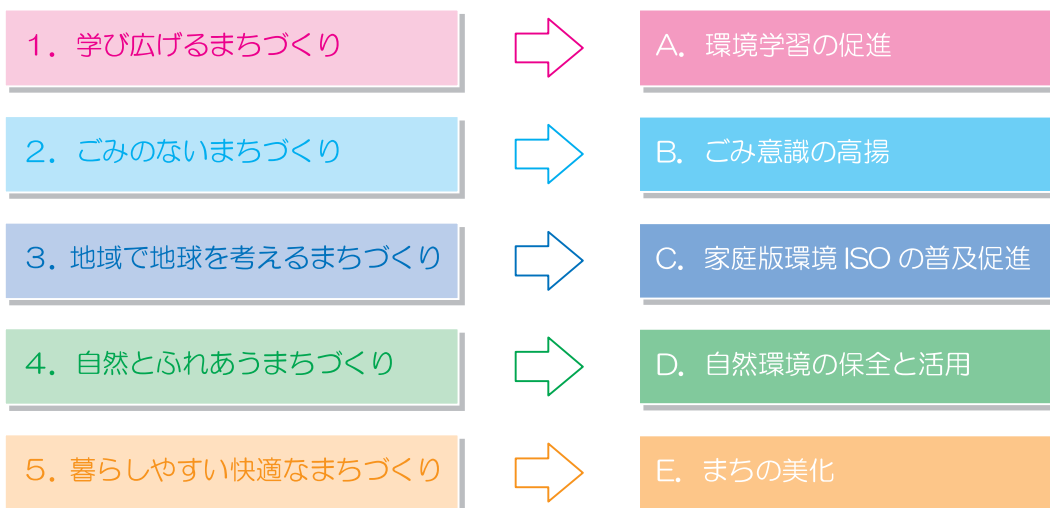
1. 地域活動の設定

市民環境意識調査の結果から、市の取り組みに関して特に重要な事項として、「次世代を担う子どもへの環境教育」、「ポイ捨て防止などの環境美化」、「自動車による大気汚染対策」が抽出されました。このうち、「自動車による大気汚染対策」については、平成 16 年 12 月より公共交通の試験運行を開始し、段階的に改善しながら取り組みが進められていることから、地域活動の対象から除いています。

環境市民会議では、平成 17 年度から 18 年度にかけて、本計画の策定に関して話し合い、数々の提案や要望がありました。この中から地域活動を抽出し、分野別目標ごとに整理しました。

分野別目標

地域活動のテーマ



2. 地域活動の内容

設定した地域活動ごとに、環境市民会議で提案された「こうなるといいな！」と、市民や市に求められることを示します。

A. 環境学習の促進

こうなるといいな！		私たちにできること	市にしてほしいこと
環境アドバイザー派遣制度をつくりたい	環境に関する知識のある人を登録してリストを作成し、地域や学校にアドバイザーとして派遣できたらいいな。	・リストへの登録	・リストの作成
環境のともだちをさがしたい	自分たちの地域に、どの分野に興味を持っている人がどれくらいいるかを調査して、活動のきっかけになったらいいな。	・調査への協力 ・自治会単位の調査	・自治会への協力
環境活動を広げたい	学校や地域などで環境について力を入れて活動していることやそのプロセスを紹介。優れた活動を表彰するなどして、先進的なところから活動が広がるといいな。	・活動情報の提供	・活動情報の収集と紹介 ・優れた活動への表彰
環境情報を充実させたい	携帯電話やFAXなどを活用して、欲しい環境情報が簡単に調べられたいな。	・情報サービスへの提案	・情報サービスの充実
学校を活用したい	総合学習の時間を利用して、環境をテーマに地域の人と交流したり、展示会などができたらいいな。名古屋産業大学などと連携して、環境イベントや講座などを開催できたらいいな。	・活動への参加	・活動の支援

B. ごみ意識の高揚

こうなるといいな！		私たちにできること	市にしてほしいこと
リサイクル広場を活用したい	リサイクル広場がみんなに知られ、リユースがもっと盛んになったらいいな。不用品の修理販売、NPO*で運営するなど、リサイクル広場をもっと充実できたらいいな。	・リサイクル広場の利用 ・不用品の提供	・リサイクル広場の充実
分別を徹底させたい	分別方法だけでなく分別の理由がわかれば、もっと分別しやすくなっていいな。子どもやお年寄りにもわかりやすい分別資料があるといいな。	・自治会などで分別徹底 ・分別への理解 ・市への提案	・分別の周知徹底
ごみ意識を高めたい	資源は無料、ごみは有料。ごみ袋の有料化など、ごみ処理の料金体系を考えることで、みんなの意識が高まったらいいな。	・検討会への参加	・検討会の設置

*NPO：“Nonprofit Organization”または“Not-for-profit Organization”の略。日本では主に「民間非営利組織（団体）」と訳されている。行政・企業とは別に社会的活動をする非営利の民間組織。



C. 家庭版環境ISOの普及促進

こうなるといいな！		私たちにできること	市にしてほしいこと
家庭版環境 ISO を広めたい	家庭版環境ISOをもっと広く普及させ、環境にやさしい家庭が増えたらいいな。CO ₂ 削減効果だけでなく節約できる金額がわかったり、簡易版があったり、楽しく取り組めたらいいな。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭版環境ISOへの取り組み 市への提案 	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい冊子の作成

D. 自然環境の保全と活用

こうなるといいな！		私たちにできること	市にしてほしいこと
今あるいいところを活用したい	山辺の散歩道など今あるいいところや、森林公園で行われている勉強会をもっとPRして、みんなが楽しめたらいいな。矢田川の散歩道づくりもみんなが参加していいものができるたらいいな。	<ul style="list-style-type: none"> 自然とのふれあい ワークショップなどへの参加 自治会などによる維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 自然とふれあえる場や活動の周知
水辺を守りたい	ため池の調査（水質、生物、歴史など）をして、メリット、デメリットについて地域で話し合う。その中で、池干し*をしたり、立て看板をつくるなど保全活動につながってほしいな。	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップなどへの参加 自治会などによる維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 保全活動への協力 ため池を守る意志表示
自然との関わり方を考えたい	大人と子どもでは、自然との関わりが違う。安全、清潔もいいけど、禁止だけでは子どもも遊べない。それぞれが楽しめる自然があり、自然を大切に思う気持ちが育ったらいいな。	<ul style="list-style-type: none"> 自然のあり方を地域で考える 自然に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 民有地活用の働きかけ 緑の少年団のような体験活動の紹介

E. まちの美化

こうなるといいな！		私たちにできること	市にしてほしいこと
まちをもっときれいにしたい	不法投棄やポイ捨て、犬、猫のふんなどの問題がないまちになったらいいな。	<ul style="list-style-type: none"> マナーを守る 清掃活動に参加する 監視活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 防止対策の実施 清掃活動の支援 監視や規制の強化
自分たちのルールをつくりたい	人によって考え方の基準がバラバラなので、地域でルールをつくれたらいいな。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会で話し合う ルールづくりに協力する 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容の紹介 看板作成などの支援

*池干し：池の水を抜き、池底を干すこと。昔から行われてきた伝統行事で、堆積したヘドロの除去、土手の補修などの維持管理を行う。

3. 地域活動共通の課題

地域活動を進めるにあたっては、以下に示すような、いくつかの課題があります。このような課題は、関係者の話し合いにより解決していくことになり、「こうなるといいな！」の実現に向けて、根気とチームワークが求められます。市は、地域活動が活発に行われるよう、可能な限り支援を行っていきます。

- ・ 地域活動に着手するきっかけづくり（場合によっては、モデルとなる自治会を公募するなど、働きかけも必要）
- ・ 情報や制度の周知
- ・ 話し合いの場への参加促進
- ・ 予算の確保

